



# PRINCE2<sup>(R)</sup>ファンデーション試験対策 e-ラーニング研修コース 重要ポイントノート

株式会社 IT&ストラテジーコンサルティング

PRINCE2® is a registered trade mark of AXELOS Limited, used under permission of AXELOS Limited.

The Swirl logo™ is a trade mark of AXELOS Limited, used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

Copyright (c) AXELOS Limited 2021. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

本資料は株式会社 IT&ストラテジーコンサルティングの「PRINCE2 ファンデーション e-ラーニングコース (AXELOS 認定研修)」の受講者のみに利用が許可されています。本資料の一部または全部を、複製、転載することを禁止します。

2021.6.27 Ver β 1.0

## ■はじめに

本資料は、PRINCE2 ファンデーション試験対策 e-ラーニング研修コースの補助教材です。

e-ラーニングコンテンツの内容の重要なポイントを抜粋しております。

研修受講の際には、本資料を印刷、もしくは他の端末で表示させる等、併用しながら受講されることをお勧めします。

また、重要なポイント等をメモしたり、アンダーラインを引いたりしていただくことで、研修内容の振り返りや試験前の最終確認などにご利用いただけます。

認定試験受験後も、実務の参照等に活用ください。

(○-○) という表記は、e-ラーニングコンテンツのページです。

(最初の○は章を表しています)

株式会社 IT&ストラテジーコンサルティング

## 第1章 プロジェクト・マネジメントおよび PRINCE2 の概要

Copyright (c) AXELOS Limited 2021. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

本資料は株式会社 IT&ストラテジーコンサルティングの「PRINCE2 ファンデーション e-ラーニングコース (AXELOS 認定研修)」の受講者のみに利用が許可されています。本資料の一部または全部を、複製、転載することを禁止します。

2021.6.27 Verβ 1.0

## 本コースの学習内容（1-2）

- ・第 1 章 プロジェクト・マネジメントおよび PRINCE2 の概要
  - ・第 2 章 PRINCE2 の成果物の概要
  - ・第 3 章 PRINCE2 の原則
  - ・第 4 章 ビジネス・ケーステーマ
  - ・第 5 章 組織テーマ
  - ・第 6 章 品質テーマ
  - ・第 7 章 計画テーマ
  - ・第 8 章 リスクテーマ
  - ・第 9 章 変更テーマ
  - ・第 10 章 進捗テーマ
  - ・第 11 章 プロセスの概要
  - ・第 12 章 プロジェクト始動プロセス
  - ・第 13 章 プロジェクト指揮プロセス
  - ・第 14 章 プロジェクト立上げプロセス
  - ・第 15 章 段階のコントロールプロセス
  - ・第 16 章 成果物提供のマネジメントプロセス
  - ・第 17 章 段階境界のマネジメントプロセス
  - ・第 18 章 プロジェクトのクローズプロセス
  - ・第 19 章 その他の関連知識（6th Edition との違い・PMBOK との関係・試験のポイント）
- 
- ・模擬試験 1
  - ・模擬試験 2
  - ・模擬試験 3

## PRINCE2 におけるプロジェクトの定義 (1-3)

“プロジェクトとは、合意されたビジネス・ケースに基づいて、1 つまたは複数のビジネス成果物を提供することを目的として作成される、一時的な組織”

## 組織においてプロジェクトはなぜ重要か? (1-4)

プロジェクトとは変革（チェンジ）を行う事である

## 通常業務とプロジェクトの違い (1-5)

変更（変化） - プロジェクトはビジネスに変更（変化）をもたらす手段

一時的 - 通常業務は継続して行われるが、プロジェクトは一時的に行われるもので、必ずはじめと終わりがある

部門横断的- プロジェクトは、部門横断的に様々異なるスキルを持った人が集まって行われる

独自性 - 全てのプロジェクトは独自性がある（毎回内容が異なる）

不確実性 - プロジェクトは通常業務より不確実性（リスク）が高い

## プロジェクトコントロールの対象 (1-6)

プロジェクトのパフォーマンスは 6 つの側面からマネジメントする。

- ・ コスト
- ・ 期間（期間コスト）
- ・ スコープ
- ・ 品質
- ・ リスク
- ・ ベネフィット

※プロジェクトの性質によって優先度が異なってくる。

（プロジェクト成果物記述書の受け入れ基準の優先度）

## プロジェクト・マネジメントの主要な標準 (1-8)

PMBOK (米国 PMI) : プロジェクト・マネジメント知識体系

ICB (欧州 IPMA) : プロジェクト・マネージャのコンピテンシー (行動特性・活動)

P2M (日本 PMAJ) : プロジェクト&プログラムマネジメント

PRINCE2 (英国政府) : プロセスアプローチによるプロジェクト・マネジメント体系

ISO21500: プロジェクト・マネジメントの国際標準規格

## PRINCE2 とは? (1-9)

Projects in controlled environments 2nd Edition

1989 年 英国政府中央電子計算機局 (CCTA) が公開 (PRINCE)

※IT プロジェクトの管理基準として作成

1996 年に改定、PRINCE2 となる

※IT プロジェクト以外にも適用可能な汎用性をもたせた

※現在は 5th Edition (2009 年版)、6th Edition (2017 年版) が共存

現在は AXELOS が知的財産権 (IP) を保有、PeopleCert が試験を配信

組織、プロジェクトの規模にかかわらず 汎用的に使えるメソッド

欧州各国、国連をはじめとした、政府・民間企業で採用されている

## PRINCE2 のベネフィット-1 (1-10)

確立された実績のあるプロジェクト・マネジメントのベストプラクティスとガバナンスを具現化している

様々なプロジェクトに適用でき、スペシャリストモデルや業界固有モデルと併せて容易に実施可能

広く認められ理解されている共通用語のため、効果的なコミュニケーションが促進される

プロジェクト内の責任が明確に定義されているため、参加者が互いの役割とニーズを理解できる

成果物重視の手法により、なにを提供するかが明確になる

マネジメントチームの様々なニーズに応えるよう設計されており、コミュニケーションとコントロールを向上させられる

マネジメントに関わる時間を効率的かつ経済的に活用できる

## PRINCE2 のベネフィット-2 (1-11)

単にプロジェクト完了を目指すのではなく、ビジネス・ケースの目標と実行可能性に注目ようになる  
 報告書が綿密でありながら無駄なく構成されるようになる  
 計画立案および意思決定に利害関係者の意向が適切に反映される  
 組織の知識が強化され、継続的改善が促進される  
 プロジェクトの一貫性が確保され、スタッフの変更や人事異動、引き継ぎの影響が軽減する  
 プロジェクト作業の保証と評価、トラブルシューティング、監査に貢献する  
 世界中の数多くの組織から専門的サポート（トレーニングやコンサルティング）を受けられる

## PRINCE2 が提供しないもの (1-12)

スペシャリストな分野

業界特有の活動（スペシャリスト）は除外している  
 どのような分野とも組み合わせて使える汎用性の高い手法

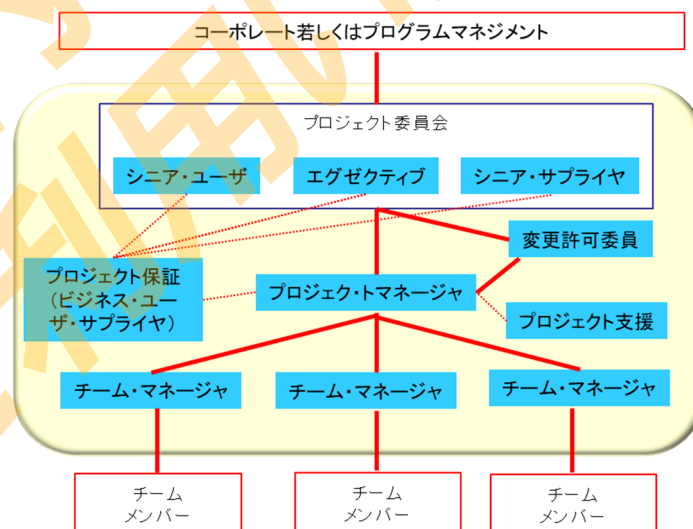
詳細な技法

他の文献で詳述されているものは省いている  
 例：ガントチャートの作成方法、クリティカルパス分析など

リーダーシップ

リーダーシップスタイルは多様で、体系化不可

## PRINCE2 のプロジェクト組織 (1-13)



Copyright (c) AXELOS Limited 2021. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

本資料は株式会社 IT&ストラテジーコンサルティングの「PRINCE2 ファンデーション e-ラーニングコース (AXELOS 認定研修)」の受講者のみに利用が許可されています。本資料の一部または全部を、複製、転載することを禁止します。  
 2021.6.27 Verβ 1.0

## PRINCE2 の構成 (1-14)

PRINCE2 は 4 つの統合された要素から成り立っている

原則 (7つ)

プロジェクト・マネジメントの指針となる義務

テーマ (7つ)

- ・ 原則を実現するために継続的に実施されるべき活動とその概念
- ・ プロジェクト・マネジメントにおいて継続的に取り組む必要のある側面

プロセス (7つ)

- ・ 特定の目標を達成するために設計された、一連の構造化された活動
- ・ プロジェクト・マネジメントの活動手順

プロジェクト環境に合わせたテーラリング

- ・ PRINCE 2 を実環境にあわせる (フィットさせる)

## PRINCE2 原則 (1-15)

プロジェクト・マネジメントの指針となる義務

1. ビジネス正当性の継続
2. 経験からの学習
3. 役割と責任の定義
4. 段階によるマネジメント
5. 例外によるマネジメント
6. 成果物重視
7. プロジェクト環境に合わせたテーラリング



## PRINCE2 テーマ (1-16)

原則を実現するために継続的に実施されるべき活動とその概念

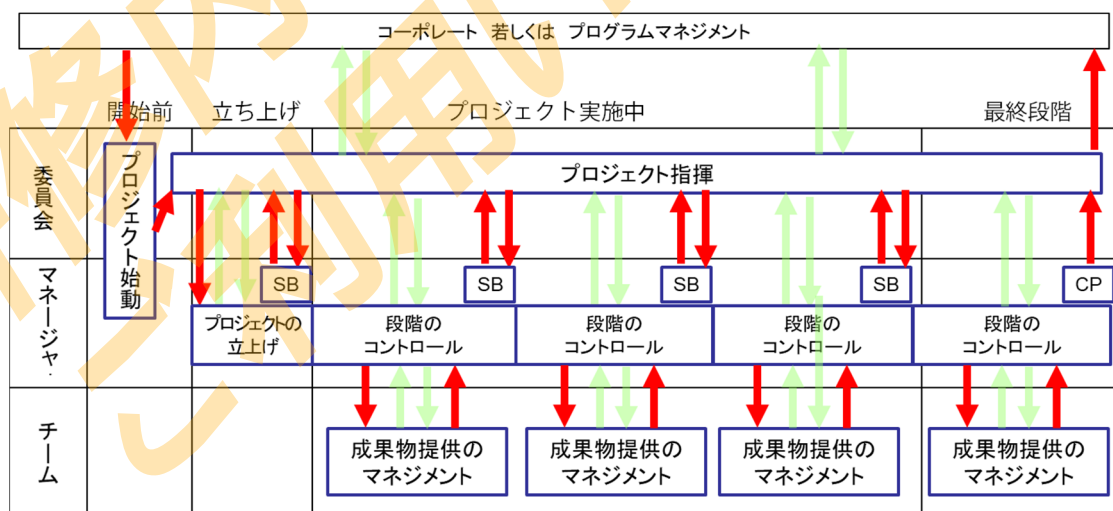
プロジェクト・マネジメントにおいて継続的に取り組む必要のある側面ビジネス正当性の継続

1. ビジネス・ケース
2. 組織
3. 品質
4. 計画
5. リスク
6. 変更
7. 進捗

## PRINCE2 プロセス (1-17)

特定の目標を達成するために設計された、一連の構造化された活動（手順）

1. プロジェクトの始動（SU）
2. プロジェクトの指揮（DP）
3. プロジェクトの立上げ（IP）
4. 段階のコントロール（CS）
5. 成果物提供のマネジメント（MP）
6. 段階境界のマネジメント（SB）
7. プロジェクトのクローズ（CP）



Copyright (c) AXELOS Limited 2021. Used under permission of AXELOS Limited. All rights reserved.

本資料は株式会社 IT&ストラテジーコンサルティングの「PRINCE2 ファンデーション e-ラーニングコース (AXELOS 認定研修)」の受講者のみに利用が許可されています。本資料の一部または全部を、複製、転載することを禁止します。

2021.6.27 Verβ 1.0

## PRINCE2 の資格 (1-21)

### PRINCE2 ファンデーション

入門資格

受験要件は問わない

多項選択式

75 問 (5 問は採点外のトライアル問題)

合格基準 50% (35 問正解)

試験時間 60 分

持ち PRINCE2 込み不可

有効期限無

### PRINCE2 プラクティショナ

実践者資格

PRINCE2 ファンデーション、PMP、CAPM 等の有資格者のみが受験可能

事例に基づいた試験

8 つの分野 (テーマ・プロセス) に対して 10 の問題 (計 80 問)

合格基準 55% (44 問正解)

試験時間 2 時間 30 分

PRINCE2 マニュアル持ち込み可

有効期限 5 年 (3 ~ 5 年ごとに再認定試験の受験が必要)